

男女共同参画センター「よりん彩」による移動相談、情報資料室などの一日移動センターも開かれ、町内外から約170人が会場を訪れにぎわいました。

町の枠を越え、広域で男女共同参画を推進する連絡会は、県内でも初めての取り組みで、今後に期待されます。

## 情報交換をして

### 広域に活動します

連絡会は、男女共同参画施策のさまざまな情報を交換し、相互の連帯を強化。広域的な男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発活動（広報紙の発行など）を推進していき

ます。また、研修会や住民の皆さんに広く参加してもらおうと講演会も開く予定にしています。

## メンバーは

### どのような団体が

連絡会は、地域づくり・人権尊重の社会づくりを目指す各種団体を中心に、日野郡4町の男女共同参画関係課、鳥取県日野総合事務所、鳥取西部農協、日野郡広域商工協議会で構成。日野総合事務所県民局に事務局が置かれます。設立総会で、会長には佐々木周子さん（日野町）、副会長には山田玲子さん（日南町）に決めました。



レディース日南  
会長 山田玲子さん（日南町）

日ごろ学習する機会が少ないので、意見や情報を交換できるということは、とても素晴らしいことだと思います。気軽に話し合え、お互いに学べる有意義な連絡会になってほしいです。

## じっくり時間をかけ 自分たちの手作りで

男女共同参画推進への活動は、各町でそれぞれ取り組んでいます。一昨年の10月、日野総合事務所が呼びかけ、郡内の取り組みを話し合う意見交換会が開かれました。

これを機に、昨年1月には、県男女共同参画センター「よりん彩」を訪問し、合同研修会を開くなど郡内の連携が図られてきました。また、その翌月には連絡協議会が開かれ、情報の共有化とお互い連帯を強め、広域で考えていこうと、この連絡会の立ち上げが提案されました。

1年という長い時間をかけ



当日の設立総会も自分たちの手で準備



日野町男女共同参画推進会議  
会長 佐々木周子さん（日野町）

男女共同参画社会の実現に向け、視野を広げて考えていかなければなりません。各町や周辺地域の推進活動がより活発になり、1人でも多くの女性の自信につながればと思います。

「連絡会は手作りで内容のあるものに」と、数回にわたり打合せ会（各種団体・行政が参加）が開かれ、活動目的や事業内容などを話し合い、設立の準備がされてきました。

の平等なパートナーシップで築き上げる調和の取れた社会のことです。

## 男性優遇が全体の

### 75パーセント

## 男女共同

### 参画社会とは

男女共同参画社会とは「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によつて社会のあらゆる分野における活動に参加する機会が確保され、もつて男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を受けることができ、共に責任を担うべき社会」で、お互いが支え合い、女性と男性

内閣府が、昨年の7月に「男女共同参画社会に関する世論調査」を実施。社会全体における男女の地位は平等になつていると思うか聞いたところ、男性が優遇されている」とする人の割合が75パーセントで、「平等」と答えた人は19.5パーセント。「女性の方が優遇されている」とする人が2.8パーセントとなり、依然として男性優位の社会であるという実態が分かりました。